

科目名	クロッシング・テクノロジー2							年度	2025
英語科目名	X'ing Technology 2							学期	通年
学科・学年	建築学科 2年次		必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※
担当教員	小林 猛		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計	

【科目の目的】

建築の仕事は、図面が読めたり描けたり、形や空間をイメージできたり、建築の構造や材料のことを知っていたりと、直接的な技術や専門知識があるだけでは、不充分である。
建築に隣り合う異分野の専門技術や知識を学ぶ事で、建築の本質を理解する事を目的とする。

【科目の概要】

- ・様々な業種や職種から担当講師を招き、建築以外の技術や知識に触れる
- ・建築の専門知識以外に触れる事で、建築の本質を理解する
- ・様々な分野に興味や関心を持ち、それらについて調べ、技術を身に着ける方法を見つける事ができる素養を身に着ける

【到達目標】

以下を到達目標とする。

- A：異分野の技術や知識について、積極的に取得する姿勢があるか
 B：本科目で得た異分野の知識を、建築に活かすことができるか

【授業の注意点】

- ・各授業において、教室や持参物等が異なる為注意すること

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	異分野について興味 関心を持ち積極的に 取り組んだ		異分野について興味 関心を持っている		異分野について興味 関心がない
到達目標 B	身に着けた知識を建 築に活かす事ができ 様々な異分野に自主 的に取り組んだ		身に着けた知識を建 築に活かす事ができ る		身に着けた知識を建 築に活かす事ができ ない

【教科書】

- ・各実習にて指示する

【参考資料】

- ・各実習にて指示する

【成績の評価方法・評価基準】

- ・授業中の取り組み姿勢やパフォーマンス課題の成果等で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		クロッシング・テクノロジー 2 X'ing Technology 2			年度	2025	
英語表記					学期	実習	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業の目的と 内容を理解する	1 科目概要	科目の目的・内容を理解している		2	
			2 授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している			
2	プロダクト デザインの 世界を知る	プロダクトデザイン の世界を知り、 建築へ活かす事が 出来る	1 実習概要 実習の目的 実習方法	実習内容や目的を理解している		2	
3			2 プロダクトデザイン の基礎知識	プロダクトデザイン の基礎知識が身についている		2	
4			3 プロダクトデザイン の実習	プロダクトデザイン の制作方法を理解し実践できる		2	
5							
6	構造デザインの 世界を知る	構造デザインの世界 を知り、 建築へ活かす事が 出来る	1 実習概要 実習の目的 実習方法	実習内容や目的を理解している		2	
7			2 構造デザインの基礎 知識	構造デザイン の基礎知識が身についている		2	
8			3 構造デザインの実習	構造デザイン の制作方法を理解し実践できる		2	
9							
10	写真の世界 を知る	写真の世界を 知り、建築へ 活かす事が出来る	1 実習概要 実習の目的 実習方法	実習内容や目的を理解している		2	
11			2 写真の基礎知識	写真の基礎知識が身についている		2	
12			3 写真の実習	写真の制作方法を理解し実践できる		2	
13							
14	成果物を 発表する	身に着けた技術 や知識を、他者へ プレゼンすること が出来る	1 成果物の発表	成果物を他者へ発表するための方法を理解できる 他者の発表から様々な知識を得る事ができる		2	
15			2 建築への活用	身に着けた技術を建築に活かす方法を理解する		2	

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等